

オハイオ州フィンドレー大学奨学生レポート 8月 フィンドレーでの生活の始まり

はじめまして。今年度の奨学生の上野裕太と申します。幼いころからアメリカに留学することに憧れていた私にとって、オハイオ州フィンドレーで、英語を学びながら、ニッシンブレキオハイオ社でインターンシップを経験できるということは、本当に夢のようなことで、このようなチャンスを与えてくれた方々には大変感謝をしております。

さて、私が留学しているフィンドレーは、田園地帯がたくさんあり自然に溢れている町で、日中は、リスを観察でき、夜になると町のあちこちで蛍を見ることができます。また、フィンドレーの人たちはとても温かく、外国人に対しても気さくに接してくれます。現在、私は大学付近のアパートを借りていますが、フィンドレーに来て初めのうちは交通ルールからゴミ出しの仕方までわからないことだらけでしたが、フィンドレー大学の川村准教授のアシスタントであるショーンが、初めから丁寧に教えて下さったため、生活面での不安はほとんど解消されました。



9か月間滞在するアパートメント



川村先生のアシスタントのショーン

午前中にフィンドレー大学の IELP（集中英語プログラム）を受け、午後からニッシンブレキオハイオ社でインターンシップを行うという今回のプログラムですが、インターンシップは9月から始まる予定なので、IELP の紹介をさせていただきます。

まず初めに、IELP を受講する前に、クラス分けのための TOEFL を受けました。クラスはレベル2から5まであり、TOEFL の点数次第でクラスが決まります。私は、Reading、Communication、Grammar の授業を週に3時間ずつ取っていて、クラスは先生1人と学生14人の15人構成で行われます。クラスメイトは日本人、中国人、韓国人、サウジアラビア人、タイ人、ペルー人、メキシコ人で、とてもインターナショナルなクラスです。フィンドレー大学の授業は非常に興味深く、日本の大学の授業のように先生が一方向的に発言して終わりではなく、先生が学生達に質問をし、学生達も自分達の意見を発言できる場を持てます。また、先生の言ったことに対して学生が疑問を持てば、授業中に納得するまで質問を繰り返すということが許されているので、授業はいつも活気に溢れています。